

2 東日本大震災に関する北九州市の 主な支援状況(平成 28 年度)

2 東日本大震災に関する北九州市の主な支援状況 (平成 28 年度)

1 職員派遣

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災発生以降、岩手県や宮城県など 4 県 18 市町村に 551 人の職員を派遣した（平成 29 年 3 月末時点）。

このうち、岩手県釜石市への派遣人数は 398 人となっており、平成 28 年度においても同市へ 11 人の職員を派遣した。

- ◆北九州市・釜石デスク（事務 1 名）〈※他に現地にて嘱託職員 1 名採用〉
- ◆釜石市復興推進本部（土木 3 名、事務 3 名、建築 2 名）
- ◆釜石市水産課（土木 1 名、事務 1 名）

【後段左から】

- ・和田 昌子
- ・保田 隆幸
- ・内村 英樹
- ・打越 浩二
- ・猪股 博之

【中段左から】

- ・末永 芳治
- ・長岡 睦美
- ・竹内 邦彦

【前段左から】

- ・原田 一臣
- ・大庭 成道
- ・中村 幸一
- ・古藤 崇世



2 北九州市・釜石デスク

平成 23 年 8 月 1 日に釜石市役所内に「北九州市・釜石デスク」を設置し、本市職員が常駐しながら、支援に係る具体的なアドバイスや本市関係部局との連絡調整などを行っている。（統括官 1 名、現地採用嘱託職員 1 名の 2 名体制）

3 支援活動を通じた市民交流など

○釜石まるごと味覚フェスティバルに北九州市ブースを出展【平成 28 年 7 月】

「釜石まるごと味覚フェスティバル」に北九州市ブースを出展し、北九州市の名産品の提供等を行った。本市からの派遣職員も参加し、釜石市民との交流が深められた。また、売上は全額釜石市に寄付金として届けられた。



○わっしょい百万夏まつりに被災地応援ブースを設置【平成 28 年 8 月】

平成 23 年度より、わっしょい百万夏まつりの会場に被災地応援ブースを設置している。

6 度目の開催となる平成 28 年度は、北九州市立大学生らの協力による「絆焼うどん」の販売や、熊本復興支援物産の販売、及び熊本地震の被害・復興の写真展示等を行った。



○農林水産まつりにて釜石焼きサンマ 2,000 本の無料振る舞い【平成 28 年 11 月】

平成 24 年度より、復興支援のお礼として釜石市よりサンマの振る舞いが行われている。

5 度目となる 28 年度においても、小倉南区の総合農事センターで開催された「農林水産まつり」で 2,000 本の焼きサンマが無料で北九州市民に振舞われた。多くの来場者が詰めかけ、「毎年楽しみにしています」との声も釜石市へ届けられた。



○釜石冬の味覚まつりに北九州市ブースを出展【平成 29 年 1 月】

平成 25 年度より、「釜石冬の味覚まつり」に北九州市ブースを出展している。4 度目となる 28 年度においても、北九州市ブースを設置し、「絆焼きうどん」の提供等を行った。本市からの派遣職員も参加し、釜石市民との交流の場となったほか、売上金は全て釜石ふるさと寄付金として釜石市へ届けられた。



○「北九州ランラン食フェスタ 2017」に釜石市や石巻市から出展【平成 29 年 2 月】

北九州マラソン併催イベント「北九州ランラン食フェスタ 2017」に釜石市が出展し、復興支援のお礼と交流拡大のため、ホタテの浜焼（1,000 枚）が提供された。提供時には 100 円以上の寄付金を募り、全て釜石市ラグビーこども未来基金寄付金として釜石市へ届けられた。

多くのランナーや応援者が来場し、東北のグルメを満喫した。



○文学館企画展「北九州と 3.11、そして熊本地震」の開催【平成 29 年 3 月】

東日本大震災から 6 年が経過し、現在も続く北九州市の復興支援の様子や、震災をテーマにした現代文学を紹介し、未曾有の大災害について考えるための企画展が文学館で開催された。本企画展では、釜石市の現状に加え、熊本の被害状況と支援の様子を伝える写真パネルが展示されたほか、釜石市より講師を招き、釜石市の復興状況について講演が行われ、期間中多くの方が来場した。

